

第1部会・協議Ⅲ (山武郡市子ども会育成連絡協議会)

回答

- 1 千葉県子連では仕事や結婚などで、どの地域に住んでも通用、活動できるようにするため全子連の教本(ジュニア・リーダー研修基準)カリキュラムでの研修を行っています。

初級は市町支部で開催し県子連にて認定し、中・上級は県子連で開催し全子連へ申請し認定されます。

別紙カリキュラムを添付

- 2 ほたるの環境保全について

- ・地元のほたる保全会会長の指導の下、5月上旬にえさの採取活動
- ・ほたるの幼虫は会長さんが育てています
- ・ほたるの生息地の用水路には近隣の方々のご協力で汚水や悪水が入らないようにしています。又田んぼには農薬を散布しないようになっています
- ・用水路のゴミ拾いもします
- ・5月末になると成虫が多数飛び交い、土、日になると見物人も多くなりますので、ゴミを捨てないようにとか「大声をださないでください」等呼びかけます

- 3 ライトブルー賞について

大網白里市ジュニア・リーダースクラブ(OJLC)の活動内容の表彰(下記)

- ・ほたるの環境保全と生育観察
- ・大網白里市ジュニア・リーダー育成講座の企画運営
- ・大網白里市異世代交流子どもフェスタのスタッフとしての活動

- 4 移動費用について

県JLCおよび各市町より負担します。

また、各行事、研修終了時に協力費・派遣費等で一律支払う事もあります。

- 5 県・支部でのJLの活動をみて

市・町・単位子ども会の行事への派遣依頼が増え、リーダーの活動は広がっています。

子ども会

Step Up

for Junior Leader's

社団法人 全国子ども会連合会

(別表1)

子ども会指導者研修事項及び研修時間など

ジュニア・リーダー初級 (理論10時間・実技15時間)					
	項	目	内 容	時間	主 催 者
理 論	I. 子ども会の意義	◇子ども会の楽しさ	●子ども会とは ●楽しい子ども会 ●子ども会の活動 ●豊かな心と生きる	1	支部 市町村子連
	II. 子ども会の組織と運営	◇子ども会のしくみ	●子ども会のしくみ ●子どものしくみ ●子ども会の約束 ●いろいろな活動	1	支部 市町村子連
	III. 子ども会活動の内容	◇子ども会活動のいろいろ	●活動内容の整理 ●これからの子ども会活動	1	支部 市町村子連
	IV. 子ども会活動のすすめ方	◇大切なプログラム ◇プログラムの作り方 ◇会議のすすめ方	●プログラムとは ●プログラムの作り方 ●会議のすすめ方	3	支部 県子連
	V. ジュニア・リーダーの役割・心得	◇ジュニア・リーダーの誇りと役割	●リーダーの誇り ●リーダーの資質	1	支部 市町村子連
	VI. 子ども会と安全	◇正しい行動の取り方 ◇事故はなぜ起きる(県子連) ◇簡単な救急法(支部・市町村子連)	●安全のすすめ ●安全な活動 ●安全な行動 ●事故はなぜ起きる ●事故が起きたら	3	県子連(2) 支部(1)
技 能	I. 野外活動	◇キャンプ ◇ウォークラリーなど	●活動技術 ●コマ図の読み方 ●コマ図の書き方	4	支部 市町村子連
	II. レクリエーション活動	◇野外ゲーム ◇室内ゲーム	●ゲームを楽しもう	2	県子連・支部 市町村子連
	III. 文化芸能活動	◇語りの実際 ◇読書会の持ち方	●読み聞かせの方法	2	支部 市町村子連
	IV. 軽スポーツ活動	◇ニュースポーツなど	●ザ・チャレンジゲーム ●インディアカなど	2	支部 市町村子連
	V. 子ども会と広報活動	◇広報活動について ◇子ども会新聞の作り方 ◇かべ新聞の作り方	●広報活動について 子ども会新聞の作り方 ●かべ新聞の作り方	3	県子連・支部 市町村子連
	VI. 創作活動	◇手作り活動	●紙・竹・木工遊び	2	県子連・支部 市町村子連
※ 受講できる年齢・・・小学校5年生以上					
※ 資格認定・登録申請・・・県子連(中学1年生)・・・全子連(中学2年生以上)					

ジュニア・リーダー中級(県子連履修理論14時間・技能14時間)

	項	目	内 容	時間
理 論	I.子ども会の意義	◇子ども会の私たち ◇子ども会を良く知ろう	●子ども会のねらい●子ども会の特色 ●活動内容 ●子ども会で学ぶ ●魅力ある子ども会●子ども主役の運営 ●いろいろな活動 ●豊かな心と生きる力	2
	II.子ども会の組織と運営	◇子ども会と ジュニア・リーダー	●子ども会活動 ●ジュニア・リーダースクラブのしくみ ●ジュニア・リーダースクラブの活動	1
	III.子ども会活動の内容	◇子ども会活動の内容	●活動の分類 ●新しい活動を考える	1
	IV.子ども会活動の すすめ方	◇プログラムの立 ◇会議・日常生活の進め方 ◇行事活動の進め方	●プログラムの立て方 ●活動の手順 ●会議・日常生活の進め方	3
	V.ジュニア・リーダーの 役割・心得	◇ジュニア・リーダーの活動 ◇ジュニア・リーダーの研修 ◇ジュニア・リーダーの技能	●ジュニア・リーダー活動 ●リーダーの研修は楽しく学びあう ジュニア・リーダースクラブの運営	4
	VI.子ども会と安全	◇安全な行動のとり方 ◇事故防止トレーニング ◇救急法のいろいろ	●安全な行動計画 ●安全な行動演習 ●物品や道具とのつながり ●人とのつながり ●プログラム点検 ●予測される事故 ●子ども会KYT	3
技 能	I.野外活動 《必修》	◇キャンプ ◇ウォークラリー など	●生活技術のレベルアップ ●キャンプでの集団遊び ●キャンプファイヤー ●アドベンチャーゲーム ●オリエンテーリング	4
	II.レクリエーション活動 《必修》	◇子どもたちと歌おう	●歌を子ども会に取り入れよう	2
	III.文化芸能活動 《必修》	◇郷土芸能に接する	●伝承芸能にふれよう	2
	IV.軽スポーツ活動 《選択》	◇ 各種競技・運動の すすめ方	●球技大会 ●ミニボーリング など	2
	V.児童文化活動 《選択》	◇絵ばなし ◇パソコンゲーム	●ペープサート ●スタンプ など	2
	VI.創作活動 《選択》	◇木工クラフト ◇科学遊び	●葉脈のしおり ●ダンボールハウス など	2
※ 受講できる年齢・・・中学2年生以上				
※ 資格認定・登録申請(県子連を経て全子連に申請)・・・中学3年生以上				

ジュニア・リーダー上級(県子連履修理論 2 2 時間・技能 1 3 時間)				
	項	目	内 容	時間
理 論	I.子ども会の意義	◇子ども会の子ども像 ◇子ども会と生きる力	●子ども会の意義 ●子ども会の特色 ●子ども像 ●子ども会像 ●子ども会に対する期待 ●子ども主役の運営●豊かな心と生きる力	2
	II.子ども会の組織と運営	◇子ども会の組織の特色 ◇子ども会の組織と運営	●子ども会の組織 ●会議の組織 ●子ども会の全体組織●効果的な運営 ●運営の実際 ●組織の活用	2
	III.子ども会活動の内容	◇子ども会の活動領域 ◇子ども会活動の形態 ◇子ども会活動の活性化	●子ども会の活動領域 ●子ども会活動の形態 ●子ども会活動の活性化	3
	IV.子ども会活動のすすめ方	◇子ども会活動の企画と運営 ◇プログラムの立案と役割分担 ◇プログラムの立案と演習 ◇子ども会活動の評価	●プログラムの立案と役割分担 ●プログラムの立案と演習 ●子ども会活動の評価	4
	V.ジュニア・リーダーの役割・心得	◇ジュニア・リーダーの知識 ◇ジュニア・リーダーへの期待 ◇共にあるジュニア・リーダー	●ジュニア・リーダーの知識 ●ジュニア・リーダーへの期待 ●共にあるジュニア・リーダー	2
	VI.子ども会と安全	◇安全学習のすすめ方 ◇安全点検の方法 ◇危険予知トレーニングのすすめ方 ◇救急法の実際	●安全指導 ●プログラムの立案 ●健康観察カード作り ●安全点検の基本 ●事故の傾向と対策 ●安全点検の実際 ●危険予知の工夫	4
	VII.子ども会を取り巻く課題	◇子ども会と仲間 ◇子ども会と家庭生活 ◇子ども会と学校生活 ◇子ども会と手を取り合う団体 ◇子ども会への期待	●子ども会と仲間 ●子ども会と家庭生活 ●子ども会と手を取り合う団体 ●子ども会を取り巻く課題	5
技 能	I.野外活動 《必修》	◇キャンプ ◇オリエンテーリング	●キャンプの理論 ●追跡ハイキング ●ウォークラリー ●水辺野外活動	4
	II.レクリエーション活動 《必修》	◇子どもたちと踊ろう	●おどりを楽しもう	2
	III.文化芸能活動 《必修》	◇子ども会新聞の作成 ◇広報活動	●壁新聞をつくろう ●模擬新聞づくり	2
	IV.軽スポーツ活動 《選択》	◇新しい種目に挑戦	●綱引き ●カップスタッキングゲーム など	2
	V.児童文化活動 《選択》		●人形劇の実際 ●人形劇の演出 など	1
	VI.創作活動 《選択》		●科学カイロなど	2
※ 受講できる年齢・・・高校1年生以上				
※ 資格認定・登録申請(県子連を経て全子連へ申請)・・・高校2年生以上				

集団指導者研修基準初級(基準学習時間 23時間)

項	目	節	時間	主催者
I.子どもの理解	1. 子どもの成長と発達	◇発達段階と発達課題 ◇各発達段階における身体生理的・発達の特質 ◇各発達段階における心理的発達の特質 ◇子どもの成長・発達と参加集団	1	市町村 ・支部
	2. 子どもと遊び	◇遊びの意義 ◇遊びの効果 ◇子どもの成長・発達と遊びの変化 ◇遊び仲間の特質	1	
II.少年教育の意義	1. 少年団体の意義と目的	◇少年教育における集団の持つ意味 ◇団体活動の教育的意義 ◇これからの教育と少年団体の使命	1	市町村 ・支部
III.集団の基礎理論	1. 集団活動の意義	◇集団の種類と形態 ◇小集団の特性 ◇小集団活動の重要性	1	市町村 ・支部
	2. 集団の構造と機能	◇集団の構造 ◇集団の機能	1	
IV.子ども会の組織と運営	1. 子ども会の意義	◇子ども会とは ◇子ども会の必要性	1	市町村 ・支部
	2. 子ども会の組織	◇組織の基本 ◇種類の種類 ◇組織化の方法	0.5	
	3. 子ども会の運営と財政	◇運営の基本と実際 ◇班活動・係活動・クラブ活動 ◇子ども会の財政	0.5	
V.子ども会活動のプログラム	1. プログラムの意義	◇プログラムとは何か ◇プログラムの必要性	1	県子連 (支部)
	2. プログラムの企画立案・作成	◇プログラム作成の視点 ◇作成の手順 ◇プログラムと予算 ◇プログラムの企画・立案・作成上の留意点 ◇実習	2	
	3. プログラムの実際	◇年間プログラム ◇月間プログラム ◇諸活動のプログラム ◇プログラム展開上の留意点	1	
	4. 話し合い活動のすすめ方	◇話し合い活動の種類と効果的な活用法 ◇話し合い活動の進め方、司会、記録など	1	

項	目	節	時間	主催者
VI.指導者の役割と機能	1. 指導者の種類と任務	◇総括的指導者の任務 ◇集団指導者の任務 ◇特技指導者の任務 ◇シニア・リーダーの任務 ◇ジュニア・リーダーの任務 ◇指導者相互の関係と協力	1	県子連 (支部)
	2. 指導・助言のあり方	◇指導者としての自覚 ◇指導・助言の意義 ◇指導・助言の実際 ◇指導技術の向上	1	
VII.育成会の役割と機能	1. 育成会の目的と性格	◇育成会の目的 ◇育成会の性格	1	市町村 ・支部
VIII.子ども会と安全	1. 安全教育	◇安全教育の必要性 ◇安全能力の形 ◇子ども会KYT(危険予知トレーニング)の活用	1	市町村 ・支部
	2. 安全の確保	◇安全点検・潜在危険のチェックポイント	0.5	
	3. 事故への対応	◇緊急時の判断と対応 ◇救急法 ◇保険	0.5	
IX.子ども会を取り巻く課題	1. 子ども会と家庭	◇家庭の構造と機能 ◇親の役割 ◇子ども会を支える家庭	0.5	市町村 ・支部
	2. 子ども会と学校	◇子ども会と学校教育 ◇子ども会と学校との提携 ◇子ども会と学校解放	0.5	
	3. 子ども会と地域社会	◇地域社会についての理解 ◇社会的資源の活用 ◇子ども会と地域づくり	1	
X.子ども会活動の実技	1. スポーツ活動	◇種目別活動 ◇ハイキング	2	市町村 ・支部
	2. 野外活動	◇キャンプ ◇その他		
	3. レクリエーション活動	◇歌とリズム ◇ゲーム ◇その他	2	
※ 受講できる年齢・・・満20歳以上 資格認定・登録申請・・・県子連を経て全子連へ申請				

集団指導者研修基準中級(基準学習時間 17時間)

項	目	節	時間
I.子どもの理解	1. 子どもの意識と行動	◇子どものものの考え方 ◇子どもの学習観・金銭観・友人観・教師観など ◇子どもの夢 ◇現代っ子の行動と特質	1
II.少年教育の意義	1. 生涯学習における少年教育	◇生涯学習の概念 ◇家庭・学校・社会の役割と連携 ◇少年期の意味と少年教育	1
III.集団の基礎理論	1. 集団の発達と課題	◇集団の始動期 ◇集団の成長期 ◇集団の成熟期 ◇集団の老成期	1
IV.子ども会の組織と運営	1. 育成者・指導者の組織と運営	◇育成者・指導者の必要性とその役割 ◇組織化と運営の方法	1
V.子ども会活動のプログラム	1. 子ども会活動の領域	◇社会活動 ◇スポーツ活動 ◇野外活動 ◇レクリエーション活動 ◇文化・芸能活動 ◇科学活動 ◇創作・生産活動 ◇奉仕活動	0.5
	2. 子ども会活動の形態	◇形態別活動の意義 ◇行事活動 ◇日常活動 ◇クラブ活動	0.5
	3. 子ども会の広報活動	◇広報活動の意義 ◇広報活動の種類 ◇広報活動の実際	1
	4. 視聴覚教材の活用	◇視聴覚教材の種類 ◇教材の準備と効果的活用	1
VI.指導者の役割と機能	1. リーダーシップ・トレーニング	◇リーダーシップとは ◇リーダーシップ・トレーニングのプログラム	1
VII.育成会の役割と機能	1. 育成事業の内容	◇指導者の発掘・養成・確保 ◇財政的援助 ◇精神的援助 ◇活動場所の確保と整備 ◇子どもの生活環境の改善	2
VIII.子ども会と安全	1. 安全の確保	◇安全点検 ◇潜在危険のチェックポイント	2

項	目	節	時間
IX.子ども会を取り巻く課題	1. 子ども会と関係団体	◇関係団体の種類と性格 ◇子ども会の関係団体の連携と協力	1
	2. 子ども会活動と今日的課題	◇子ども会と国際理解 ◇子ども会と情報化社会 ◇子ども会と高齢化社会 ◇子ども会と障害者 ◇その他	1
X.子ども会活動の実技	1. 文化芸能活動	◇文化活動 ◇芸能活動 ◇その他	1
	2. 科学活動	◇科学活動	1
	3. 創作・生産活動	◇創作活動 ◇生産活動	1
※ 受講できる年齢・・・満20歳以上 ※ 資格認定・登録申請・・・県子連を経て全子連へ申請			

(別表1-2)

指導者養成カリキュラム

	ジュニア・リーダー			集団指導者	
	初級	中級	上級	初級	中級
子どもの理解				2	1
少年教育の意義				1	1
集団の基礎理論				2	1
子ども会の組織と運営	2	3	4	2	1
子ども会活動のプログラム	4	4	7	5	3
指導者の役割と機能	1	4	2	2	1
育成会の役割と機能				1	2
子ども会と安全	3	3	4	2	2
子ども会を取り巻く課題			5	2	2
子ども会活動の実技	15	14	13	4	3
合計	25	28	35	23	17